

思川第二発電所事業性評価調査

1. 調査の目的

小水力開発の事業性評価には、様々な調査により得られた精緻なデータや綿密な基本計画による検討が必要とされる。それら調査は、画一的な手法によるものではなく、地域特性を十分に把握できる最新な情報であることが重要である。

本計画地点では、それら基本情報が不足しており、適正な事業性評価を検討する環境下がないことから、小水力開発に必要な不可欠な流量測定・測量調査・地質調査及び正常流量調査を行い、この調査結果を踏まえた事業性評価を行うことを目的とする。

2. 調査の内容

- (1) 事業者名
三峰川電力株式会社
- (2) 事業名
思川第二発電所事業性評価調査
- (3) 事業期間
平成 26 年 10 月 17 日 ~ 平成 27 年 2 月 25 日
- (4) 調査を実施する発電設備の概要
 - a.型式 : 水路式
 - b.使用水量 : 0.56 m³/s
 - c.有効落差 : 44.8m
 - d.出力 : 196kW

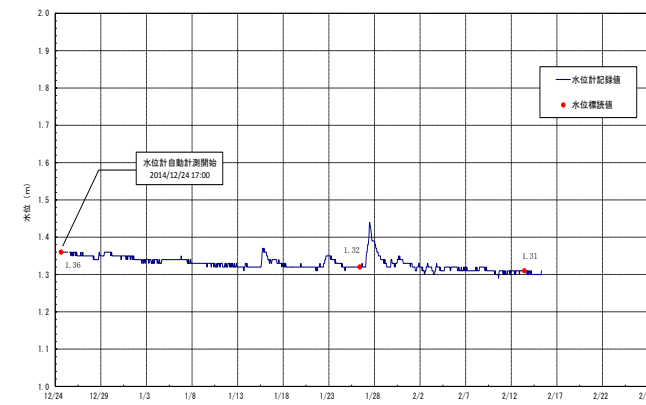
3. 平成 26 年度の実施概要

- (1) 調査実施状況
 - ① 流量調査
思川第一発電所の流量データを使用。
 - ② 測量調査
地形測量、縦断測量、横断測量を実施し、正確な地形情報を把握。
 - ③ 地質踏査
水槽や発電所などのコンクリート構造物設置地点を対象とした地質踏査の実施。
 - ④ 正常流量調査
減水区間の河川状況を把握し、維持流量設定の基礎資料を得る。

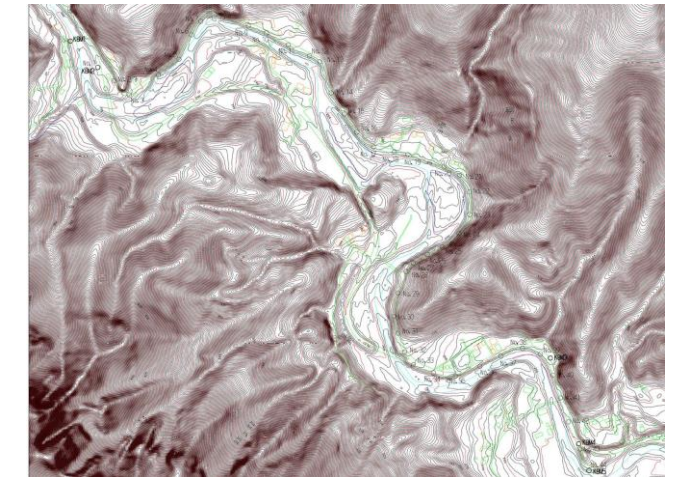
4. 調査の成果等

事業性評価調査の結果より事業実施に向け検討継続していく事とした。

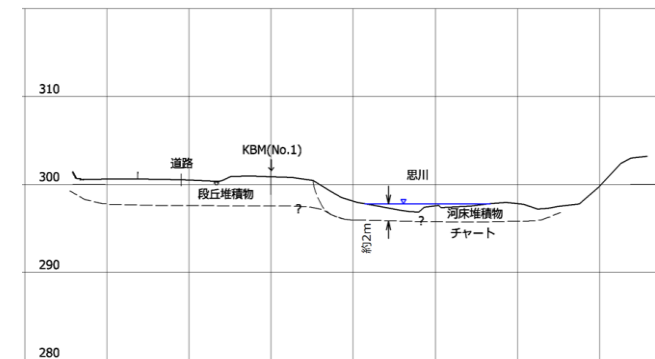
(1) 流量測定（水位経時変化図）



(2) 測量調査



(3) 地質踏査



(4) 正常流量調査

【必要水深】	単位:cm												備考
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
イワナ	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
ヤマメ	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
ウグイ	15	15	15	30	30	30	15	15	15	15	15	15	
カジャ	15	20	20	30	30	10	10	10	10	10	10	10	
最大値	15	20	20	30	30	30	15	15	15	15	15	15	

【必要流速】	単位:cm/s												備考
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
イワナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヤマメ	-	-	-	30	30	30	-	-	-	-	-	-	
ウグイ	-	-	-	10	10	10	-	-	-	-	-	-	
カジャ	-	10	10	10	10	-	-	-	-	-	-	-	
最大値	-	10	10	30	30	30	-	-	-	-	-	-	

※魚種の必要水深条件は「正常流量の手引き(策)」平成19年9月国土交通省河川局河川環境課 参考資料2魚種別の必要水深条件の参考例に準拠した。

■ 産卵期

5. 事業スケジュール

調査内容	平成 26 年度	平成 27 年度
測量調査	■	
地質踏査	■	
正常流量調査	■	
事業性評価		■

正常流量調査実施中

